

福島 の未来と問題の変遷

— さまざまな分野における事故後4年の経過における問題点の変遷 —

平成 23 年に発生した東日本大震災から 4 年が経過し、
間も無く 5 年を迎えようとしている。

さまざまな分野における事故後 4 年の経過における
問題点の変遷を取り上げ、放射性物質に汚染された
地域はどのように再生していくのか

とき

平成 27 年 12 月 11 日 (金)
13:00~17:00

ところ

長崎大学 良順会館
ボードインホール (坂本キャンパス)

13:00-13:10 開会挨拶 山下 俊一

13:10-13:30 福島復興・新生に向けた長崎大学の取組み

高村 昇 長崎大学 原研国際

13:30-13:50 土壌および有機物に吸着した放射性セシウムの溶出挙動

大嶺 聖 長崎大学 工学部

13:50-14:10 粘土鉱物中による Cs 吸着メカニズムと選択性

矢板 毅 国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 (JAEA)

14:10-14:30 福島県内の森林生態系の利用と復興への貢献

杉村 乾 長崎大学 環境科学部

14:30-14:50 農地除染と移行低減対策、4年の月日で見えてきたこと

信濃 卓郎 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 (NARO)

14:50-15:20 休憩

15:20-15:40 福島第一原子力発電所内で発生する廃棄物の現状と課題

佐藤 努 北海道大学 大学院 工学研究科 環境地質学研究室

15:40-16:00 除染廃棄物の現状と課題、土壌の熱処理における減容の可能性

万福 裕造 国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター (JIRCAS)

16:00-16:20 土壌の分級における減容の可能性

伊藤 健一 宮崎大学 国際連携センター

16:20-16:40 除染廃棄物の減容再利用の可能性 — 鍵となる要素は何か？

保高 徹生 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 (AIST) (産総研)

16:40-17:00 総合ディスカッション・総評 山下 俊一



主催 長崎大学福島未来創造支援研究センター 〒852-8523 長崎県長崎市坂本 1-12-4

後援 公益社団法人 土木学会

協力 日本原子力研究開発機構、物質・材料研究機構、産業技術総合研究所、

農業・食品産業技術総合研究機構、国際農林水産業研究センター